様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	川崎医療福祉大学
設置者名	学校法人川崎学園　理事長　川﨑誠治

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
医療福祉学部	医療福祉学科	夜・通信	35		255	290	13	
	臨床心理学科	夜・通信			174	209	13	
	子ども医療福祉学科	夜・通信			131	166	13	
保健看護学部	保健看護学科	夜・通信			118	153	13	
リハビリテーション学部	理学療法学科	夜・通信			111	146	13	
	作業療法学科	夜・通信			114	149	13	
	言語聴覚療法学科	夜・通信			99	134	13	
	視能療法学科	夜・通信			108	143	13	
医療技術学部	臨床検査学科	夜・通信			121	156	13	
	診療放射線技術学科	夜・通信			98	133	13	
	臨床工学科	夜・通信			36	71	13	
	臨床栄養学科	夜・通信			95	130	13	
	健康体育学科	夜・通信			147	182	13	
医療福祉マネジメント学部	医療福祉経営学科	夜・通信			66	101	13	
	医療情報学科	夜・通信			89	124	13	

	医療秘書学科	夜・通信			77	112	13	
	医療福祉デザイン学科	夜・通信			107	142	13	
（備考）専門科目については各学科を網羅的に計上した。								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/jitsumu_keiken/

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	川崎医療福祉大学
設置者名	学校法人川崎学園　理事長　川﨑誠治

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://k.kawasaki-m.ac.jp/pdf/gaiyou/yakuin.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社　役員	2021.3.31～2024.3.30	学園運営に係る意見聴取
非常勤	株式会社　役員	2021.3.31～2024.3.30	学園運営に係る意見聴取
非常勤	公益社団法人　代表	2021.3.31～2024.3.30	学園運営に係る意見聴取
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	川崎医療福祉大学
設置者名	学校法人川崎学園　理事長　川﨑誠治

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） ・授業計画（シラバス）の作成過程 シラバス作成マニュアルを毎年改定し、教務委員会にて各学科の教務委員に変更点や大学の教育方針を伝達した後、科目の主担当教員が中心となり、シラバス作成する。最終的に学部・学科内でのシラバスの第３者チェックを行い、平準化を図ったのちにシラバスを公開する。 ・授業計画の作成・公表時期 　シラバスの作成時期は前年度の 12 月より作成をはじめ、約 2 か月間の作成とその確認期間を設けている。学生への公開は、春学期のガイダンスが始まるまでの３月中旬を目処に行っている。	
授業計画書の公表方法	https://mwweb.kawasaki-m.ac.jp/syllabus/search/s10
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） シラバスの中に授業のねらいと到達目標を定め、学生に学ぶべき指針を明らかにしている。また、シラバス内に評価方法について、評価項目とその項目が占める割合を明示しており、公正な成績評価につなげている。その際、教員側の一方的な評価になるのを防ぐため、過半数の科目で学習成果に対するフィードバックの方法についても評価項目の中で明示している。	
３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
科目を履修するにあたって、卒業に必要な単位を修得するだけではなく、主体的にかつ充実した学習効果をあげるために GPA(Grade Point Average)による評価を導入している。この制度は学業成績を総合的に評価する指標として、自身の成績や履修状況をより客観的に把握するだけでなく、GPA が 3.2 以上に達した学生には、履修登録の上限を超えて履修することができるなど学生の学修意欲を喚起する一方で、成績の分布状況の把握を行うことにより適切な学修指導や教育の国際化の推進等に活用している。
この GPA を使用することについては、大学ホームページ（以下参照）、学生便覧、学則、履修規程等に明示している。

GPA制度の算定基準

GPAの算定基準とは、履修登録した科目毎の5段階評価を4から0までの点数（GP：Grade Point）に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点です。

＜算定式＞

$$\text{GPA} = \frac{\text{〔(科目の単位数)×(その科目の評価のGP)〕の総和}}{\text{(履修登録した単位数)の合計}}$$

※小数点第二位を四捨五入。

また、成績の評価及び各評価に与えられるGP値は、以下のとおり定めています。

評価	秀	優	良	可	不可	評価不能	認定	保留
	S	A	B	C	D	E	-	H
GP値	4	3	2	1	0	0	-	-
点数	100～90	89～80	79～70	69～60	59以下	受講・受験せず	単位認定	単位保留

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/system_credit/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）
卒業においては、全ての学科の基準として、4 年以上の在学と、基礎教育科目 26 単位以上、専門科目 98 単位以上、計 124 単位以上の卒業要件を修めることとしている。卒業年次においては、全ての単位修得状況を確認した上で、大学運営委員会、教授会の議を経て卒業を承認することとしている。

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/system/

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	川崎医療福祉大学
設置者名	学校法人川崎学園　理事長　川﨑誠治

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/
収支計算書又は損益計算書	https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/
財産目録	https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/
事業報告書	https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/
監事による監査報告（書）	https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/evaluation_self/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　医療福祉学部
教育研究上の目的（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/dept/welfare/）
（概要） 医療福祉学部は、患者や援助を必要とする人たちを様々な方法で支援するための理論と実践力を備えた専門職業人の養成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_diploma02）
（概要） 医療福祉学部では、大学の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、所定の単位を修得し、以下の学習成果を獲得した者に学位を授与する。 1.幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに他者とのコミュニケーション能力を身につけ、医療福祉人として活動できる能力と体力を身につける。 2.医療福祉という総合的な視点を持ち、専門領域における多様な課題を探索・解決し得る能力を身につける。 3.人々の幸福な生涯を支援するため、医療福祉専門職に必要な高いレベルの学力と技術力、指導力を身につける。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_curriculum02）
（概要） 医療福祉学部では、大学の教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、各学科における科目を体系的に配置し、高度な専門性と実践力に重点を置いた教育課程（カリキュラム）を以下のとおり編成し、実施している。 1.高い教養と専門科目を履修するために必要な基礎学力を身につけるための人間教育として、医療福祉、教養、外国語、健康体育、情報、総合教育の６つの分野から構成される全学共通の「基礎教育科目」を配置する。 2.専門職としての知識と技術力を獲得するため専門教育として、４年間の体系的な教育が実施できるよう「専門科目」を配置する。 3.応用力と指導力を兼ね備えるための実践的な職業教育として、演習、学内実習に加えて多種の学外臨地実習科目を配置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_admission02）
（概要） 医療福祉学部では、大学の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、以下の学生を入学者として求めている。 1.医療や福祉の分野で活躍するために、医療福祉専門分野の知識と技術を修得する意欲のある人 2.他者を理解し、他者と共に考え、他者と協働して、人々の幸福な生活実現に貢献する意志のある人 3.他の医療福祉専門職の人と連携して働くために必要なコミュニケーション能力と実践力の基礎資質を備えている人 4.社会人としての良識や倫理観を身につけ、他者を支援する専門職として社会に貢献したいと願っている人

学部等名　保健看護学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/dept/nursing/）
（概要） 保健看護学部は、人々の健康と生活を包括的に捉え、科学的根拠に基づいた知識、技術、態度を養うことを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_diploma09）
（概要） 保健看護学部では、大学の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、所定の単位を修得し、以下の学習成果を獲得した者に学位を授与する。 1.幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに他者とのコミュニケーション能力を身につけ、看護専門職者として活動できる能力と体力を身につける。 2.保健・医療福祉の総合的な視点を持ち、専門領域における多様な課題を探索・解決し得る能力を身につける。 3.人々の健康で豊かなライフサイクルを支援するため、看護職に必要な高いレベルの学力と技術力、指導力、倫理観を身につける。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_curriculum09）
（概要） 保健看護学部では、大学の教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、保健看護学の科目を体系的に配置し、高度な専門性と実践力に重点を置いた教育課程（カリキュラム）を編成し、実施している。 1.高い教養と専門科目を履修するために必要な基礎学力を身につけるための人間教育として、医療福祉、教養、外国語、健康体育、情報、総合教育の 6 つの分野から構成される全学共通の「基礎教育科目」を配置する。 2.専門職としての知識、技術力、態度を獲得するための専門教育として、4 年間の体系的な教育が実施できるよう「専門科目」を配置する。 3.応用力と指導力を兼ね備えるための実践的な職業教育として、演習、学内実習に加えて多種の学外臨地実習科目を配置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_admission09）
（概要） 保健看護学部では、大学の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、以下の学生を入学者として求めている。 1.保健・医療福祉の分野で活躍するために、専門分野の知識、技術、態度を修得する意欲のある人 2.他者を理解し、他者と共に考え、他者と協働して、人々の健康的な生活実現に貢献する意志のある人 3.他の専門職の人と連携して働くために必要なコミュニケーション能力と行動力を備えている人 4.社会人としての良識や倫理観を身につけ、他者を支援する専門職として社会に貢献したいと願っている人

学部等名　リハビリテーション学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/dept/rehabilitation/）
（概要） リハビリテーション学部は、ハビリテーション・リハビリテーションの理念を備え、高齢者や障がい者の社会的自立の手助けができる専門職業人の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_diploma10）
（概要） リハビリテーション学部では、大学の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、リハビリテーションの分野で深い知識と優れた技術を併せ備えた、有能にして社会の要請に応え得る人材を育成するという目的を達成するために、所定の単位を修得し、以下の学習成果を獲得した者に学位を授与する。 1.リハビリテーション学部の各学科の領域における高い専門性を身につける。 2.臨床・臨地実習を充実させ、深い知識と高い技術、現場を重視した職業観を身につける。 3.技術の修得に加えて、豊かな人間性を養う。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_curriculum10）
（概要） リハビリテーション学部では、大学の教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、各学科における科目を体系的に配置し、高度な専門性と実践力に重点を置いた教育課程（カリキュラム）を以下のとおり編成し、実施している。 1.高い教養と専門科目を履修するために必要な基礎学力、豊かな人間性を身につけるための「基礎教育科目」を配置する。 2.リハビリテーションの専門職業人に必要な高い知識と技術を獲得するための「専門科目を」配置する。 3.各学科が重視する理論と実践の融合を重視した実習に関する科目を配置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_admission10）
（概要） リハビリテーション学部では、大学の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、以下の学生を入学者として求めている。 1.豊かな人間性と社会性のある人 2.リハビリテーションの各分野に高い目的意識と探求心を持つ人 3.チーム医療の一員として協調性やコミュニケーション能力を持つために努力する人 4.社会人としての倫理観を身につけ、コンプライアンスを共有することのできる人

学部等名　医療技術学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/dept/technology/）
（概要） 医療技術学部は、医療技術に基づく治療や指導を担当する専門的知識と技術を身につけ、実際に応用できる人間性豊かな専門職業人の養成を目的とする。

卒業の認定に関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_diploma03）
（概要） 医療技術学部では、大学の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、医療・保健・福祉の分野で安全で質の高い医療技術が提供できる専門職業人を育成するという目的を達成するために、所定の単位を修得し、以下の学習成果を獲得した者に学位を授与する。 1.医療技術学部の各学科の領域における高い専門性を身につける。 2.臨床・臨地実習を充実させ、現場を重視した職業観を身につける。 3.技術の修得に加えて、豊かな人間性を養う。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_curriculum03）
（概要） 医療技術学部では、大学の教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、各学科における科目を体系的に配置し、高度な専門性と実践力に重点を置いた教育課程（カリキュラム）を以下のとおり編成し、実施している。 1.高い教養と専門科目を履修するために必要な基礎学力、豊かな人間性を身につけるための「基礎教育科目」を配置する。 2.医療技術の専門職業人に必要な高い知識と技術を獲得するための「専門科目」を配置する。 3.各学科が重視する理論と実践の融合を重視した実習に関する科目を配置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_admission03）
（概要） 医療技術学部では、大学の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、以下の学生を入学者として求めている。 1.豊かな人間性と社会性のある人 2.医療技術の各分野に高い目的意識と探究心を持つ人 3.チーム医療の一員として、関連する他の医療福祉人との協調性やコミュニケーション能力を持つために努力する人 4.社会的ルールを尊重できる人
学部等名　医療福祉マネジメント学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/dept/management/）
（概要） 医療福祉マネジメント学部は、医療福祉経営、医療情報、医療秘書、医療福祉デザインの各領域における知識と技術を獲得し、医療福祉サービスのマネジメント能力を備えた専門家の養成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_diploma04）
（概要） 医療福祉マネジメント学部では、大学の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、所定の単位を修得し、以下の学習成果を獲得した者に学位を授与する。 1.医療福祉マネジメント学部の各学科の領域における高い専門性を身につける。 2.医療福祉施設での実習を通して、現場を重視した倫理観と職業観を身につける。 3.専門知識と技術の修得に加えて、豊かな人間性を養う。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_curriculum04）
（概要） 医療福祉マネジメント学部では、大学の教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、各学科における科目を体系的に配置し、高度な専門性と実践力に重点を置いた教育課程（カリキュラム）を以下のとおり編成し、実施している。 1.高い教養と専門科目を履修するために必要な基礎学力、豊かな人間性を身につけるための「基礎教育科目」を配置する。 2.各学科が目指す専門職業人に必要な高い知識と技術を獲得するための「専門科目」を配置する。 3.各学科が重視する実践力を養うために実習に関する科目を配置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/policy_three_policy#anchor_admission04）
（概要） 医療福祉マネジメント学部では、大学の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、以下の学生を入学者として求めている。 1.医療福祉の理念を理解し、豊かな人間性と社会性のある人 2.医療福祉と関連する各分野に高い目的意識と探究心を持つ人 3.組織の一員として他の医療福祉人と連携して働くために必要なコミュニケーション能力を持つために努力する人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/data_purpose/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	4 人	－					人
医療福祉	－	25 人	16 人	22 人	14 人	0 人	77 人
保健看護	－	12 人	7 人	13 人	11 人	0 人	43 人
リハビリテーション	－	24 人	13 人	20 人	13 人	0 人	70 人
医療技術	－	37 人	28 人	30 人	21 人	1 人	117 人
医療福祉マネジメント	－	20 人	10 人	12 人	8 人	1 人	51 人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	415 人	415 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法： https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/teacher/ https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
医療福祉学部	296 人	131 人	44.2%	1218 人	798 人	65.5%	17 人	2 人
保健看護学部	120 人	137 人	114.1%	480 人	515 人	107.2%	0 人	0 人
リハビリテーション学部	220 人	229 人	104.0%	880 人	926 人	105.2%	0 人	0 人
医療技術学部	330 人	318 人	96.3%	1332 人	1298 人	97.4%	6 人	0 人
医療福祉マネジメント学部	220 人	77 人	35.0%	898 人	370 人	41.2%	9 人	0 人
合計	1186 人	892 人	%	4808 人	3907 人	81.2%	32 人	2 人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
医療福祉	267 人 (100%)	21 人 (7.9%)	223 人 (83.5%)	23 人 (8.6%)
保健看護	122 人 (100%)	8 人 (6.6%)	112 人 (91.8%)	2 人 (1.6%)
リハビリテーション	201 人 (100%)	2 人 (1.0%)	193 人 (96.0%)	6 人 (3.0%)
医療技術	348 人 (100%)	12 人 (3.4%)	310 人 (89.1%)	26 人 (7.5%)
医療福祉マネジメント	130 人 (100%)	1 人 (0.8%)	118 人 (90.8%)	11 人 (8.5%)
合計	1,068 人 (100%)	44 人 (4.1%)	956 人 (89.5%)	68 人 (6.6%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）%の数値は四捨五入のため合計が 100%にならない場合があります。

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

（備考）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
・授業計画（シラバス）の作成過程
シラバス作成マニュアルを毎年改定し、教務委員会にて各学科の教務委員に変更点や大学の教育方針を伝達した後、科目の主担当教員が中心となり、シラバス作成する。最終的に学部・学科内でのシラバスの第3者チェックを行い、平準化を図ったのちにシラバスを公開する。
・授業計画の作成・公表時期
　シラバスの作成時期は前年度の12月より作成をはじめ、約2か月間の作成とその確認期間を設けている。学生への公開は、春学期のガイダンスが始まるまでの3月中旬を目処に行っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
　各科目単位では、シラバスの中に授業のねらいと到達目標を定め、学生に学ぶべき指針を明らかにしている。また、シラバス内に評価方法について、評価項目とその項目が占める割合を明示しており、公正な成績評価につなげている。その際、教員側の一方的な評価になるのを防ぐため、過半数の科目で学習成果に対するフィードバックの方法についても評価項目の中で明示している。
卒業においては、全ての学科の基準として、4 年以上の在学と、基礎教育科目 26 単位以上、専門科目 98 単位以上、計 124 単位以上の卒業要件を修めることとしている。卒業年次においては、全ての単位修得状況を確認した上で、大学運営委員会、教授会の議を経て卒業を承認することとしている。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
医療福祉学部	医療福祉学科	124 単位	(有)・無	49 単位
	臨床心理学科	124 単位	(有)・無	49 単位
	子ども医療福祉学科	124 単位	(有)・無	49 単位
保健看護学部	保健看護学科	124 単位	(有)・無	49 単位
リハビリテーション学部	理学療法学科	124 単位	(有)・無	49 単位
	作業療法学科	124 単位	(有)・無	49 単位
	言語聴覚療法学科	124 単位	(有)・無	49 単位
	視能矯正学科	124 単位	(有)・無	49 単位
医療技術学部	感覚矯正学科 言語聴覚専攻	124 単位	(有)・無	49 単位
	リハビリテーション学科 理学療法専攻	124 単位	(有)・無	49 単位
	リハビリテーション学科 作業療法専攻	124 単位	(有)・無	49 単位
	臨床検査学科	124 単位	(有)・無	49 単位
	診療放射線技術学科	124 単位	(有)・無	49 単位
	臨床工学科	124 単位	(有)・無	49 単位
	臨床栄養学科	124 単位	(有)・無	49 単位
	健康体育学科	124 単位	(有)・無	49 単位
医療福祉マネジメント学部	医療福祉経営学科	124 単位	(有)・無	49 単位
	医療情報学科	124 単位	(有)・無	49 単位
	医療秘書学科	124 単位	(有)・無	49 単位
	医療福祉デザイン学科	124 単位	(有)・無	49 単位

ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）	公表方法： https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/system_credit/
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）	公表方法： https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/system/

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/data_environment/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
医療福祉学部	医療福祉学科	700,000 円	300,000 円	350,000 円	「その他」欄には教育充実費を計上している
	臨床心理学科				
	子ども医療福祉学科				
保健看護学部	保健看護学科	1,000,000 円	300,000 円	500,000 円	「その他」欄には教育充実費を計上している
リハビリテーション学部	理学療法学科	1,000,000 円	300,000 円	400,000 円	「その他」欄には教育充実費を計上している
	作業療法学科				
	言語聴覚療法学科				
	視能療法学科				
医療技術学部	臨床検査学科				
	診療放射線技術学科				
	臨床工学科				
	臨床栄養学科				
	健康体育学科				
医療福祉マネジメント学部	医療福祉経営学科	700,000 円	300,000 円	350,000 円	「その他」欄には教育充実費を計上している
	医療情報学科				
	医療秘書学科				
	医療福祉デザイン学科	700,000 円	300,000 円	600,000 円	「その他」欄には教育充実費を計上している

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） これまでの教育方針に従い、より一層医療と福祉の両分野にまたがる高い知識と技術を備えた有能な人材育成に努めることとする。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 就職支援センターでは各学科と連携して、きちんと学業と就職活動に取り組めば十分対応できるという考えを基本に学生の就職活動の支援を行うとともに、積極的に自らのキャリアを形成していく意識の高揚を目指してセンター機能の充実を図っていく。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 学友会が自主的に企画・運営する活動を奨励するとともに、学生自らが執行部を強化し、学友会活動活性化を図るための支援を行う。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://w.kawasaki-m.ac.jp/info/data_research/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F133310109607
学校名	川崎医療福祉大学
設置者名	学校法人川崎学園　理事長　川﨑誠治

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		363人	349人	381人
内訳	第Ⅰ区分	199人	198人	
	第Ⅱ区分	99人	103人	
	第Ⅲ区分	65人	48人	
家計急変による支援対象者（年間）				－
合計（年間）				385人

（備考）
前半期に第Ⅰ区分であったが後半期に家計急変による第Ⅰ区分に変更があった学生（1名）については、「家計急変による支援対象者は外数として計上する」という機関要件の確認事務に関する指針に従って「支援対象者（家計急変によるものを除く）」には計上せずに「家計急変による支援対象者（年間）」にのみ計上した。

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	–		
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	–		
「警告」の区分に連続して該当	–		
計	12人		
（備考） 卒業者含む			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期		後半期	

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	0人		
ＧＰＡ等が下位４分の１	64人		
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	15人		
計	69人		
（備考） 卒業者含む			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。